



平成29年7月31日

各 位

会 社 名 アピックヤマダ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 押森 広仁
 (コード番号 6300 東証第二部)
 問合せ先 取締役企画部長 小出 篤
 (TEL. 026-275-2111)

業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成29年4月21日に公表いたしました平成29年3月期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の通期業績予想値と本日公表の実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成29年3月期通期業績予想数値と実績値の差異(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,280	240	250	200	16.10
実績値(B)	11,098	397	396	335	26.99
増減額(B-A)	△182	157	146	135	
増減率(%)	△1.6	65.4	58.4	67.5	
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	8,899	△609	△526	△689	△55.52

(2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,120	100	190	150	12.08
実績値(B)	9,946	258	340	287	23.13
増減額(B-A)	△174	158	150	137	
増減率(%)	△1.7	158.0	78.9	91.3	
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	8,100	△510	△379	△547	△44.11

2. 差異発生 の理由

当社の売上に関する不適切な会計処理の疑義について会計監査人他に対して通報があり、これを受け、当社は、平成29年5月2日に本件疑義に係る事実確認の調査及び売上計上に関する会計処理の当否の確認等を目的として当社と利害関係を有しない外部の専門家から構成される第三者委員会を設置しました。

平成29年6月30日に第三者委員会による調査報告書を受領し、電子部品組立装置事業において、社内の売上計上基準の恣意的な解釈に基づく売上の前倒計上及びそのために事実と異なる証憑書類の作成・改竄を行っていたことが認められたとの報告を受けました。

これに伴い当社は、売上の前倒計上の影響のある過年度の決算を訂正いたしました。これらの訂正により、平成29年4月21日に公表した平成29年3月期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の通期の連結及び個別の予想値との差異が発生いたしました。

以上